

①

淀川^{水系}流域委員会 新委員の皆様
活躍を期待しています。

奈良・月ヶ瀬 小山公久

A 私達は夏休み親子での水辺の自然観察会を
名張川・カントリーパーク大川にて7月と8
月2回行いました。地域での取り組みが大切
だと思います。川の様子や川に住んでいる生
物、水生生物はルーペや携帯用顕微鏡での観察、
双眼鏡での野鳥観察、植物観察、昆虫観察等
色々できました。又、定期的に行っている水
質調査も合わせて実施いたしました。

新委員の皆様とりわけ「人文、経済、社会
等」の分野の皆様への活躍に期待しています。

どうもこの間の審議内容をうかがってま
す。歴史、文化についての報告が少なく
のではなにかと感じます。

B 「川で遊ぶだけではない利用、川に活かす
ための利用を基本とし、地域固有の歴史、文化
を活かした……施策案を管中内容にしっかりと盛りこ
んで下さい。」⁽²⁾

* 参考までに、今日の大川での観察会での「歴史、文化」資料も
載せて下さい。

※すでに611と623で私の意見は述べてます。②

C 河川にはオオサニニヨウがどうして、川上川と前深瀬川流域に、日本最高密度で生息しているのか。その理由を明らかにせず、水没予定地内にいた他数を上流部に強制移転させてしまい、たいぶ死滅させてしまっているにもかかわらず、再検討も、評価もなされていない。ましてや、この間の研究報告も私達要求していてもかかわらず公表されていないし、説明に怠りようとしている。国家予算も使っているから、研究の名で行っている事は虐待そのものではないでしょうか。

D 釜生、青蓮寺、比奈知カムを作った影響はオオサニニヨウのオオにどうあったのか調査してまたのか質問したい。生息しているのか、いないのか? 私達、大和高原でも昨年、集落にまよって来たオオサニニヨウのオオを地区の人は、自然に返してやっています。

近畿地方整備局に一番望む点

教えて下さい; 資料は国が持っているのを

⑤

ゆとりにして話しを進めたいのに、手持ちの資料すら明らかにしてくれない。登城、反村以前の段階で、時間は終ってしまふ。

例えば、「木津川^上流域住民対話集会」せつかく、^{6回}一所懸命に対話して、チェックリストとして提案書が提出されたにもかかわらず、誠意を対応と、説明がほとんど全部と行って良いほどなされてきていない。と思います。そして失望。

進行役を務められた桑子敏雄先生は、この点も予見されておられたか、「集会のタイム」として、

- 1 行政アリアイづくり集会
- 2 住民不満ガス抜き集会
- 3 行政説明「ご理解いただく」集会
- 4 言いっぱなし、聞きっぱなし集会
- 5 住民意見提出集会
- 6 住民提案行政対応集会
- 7 合意形成達成集会

集会所でいましては、採点は？ これからですので、整備局は説明して下さい。ね



猫淵とスッポンに乗るお地藏さん

伊賀市千野の花壇神社前を流れて花前川が治田地区を白拍子橋から名張川(五月川)に流れこむ。その合流地点の岩に大きなお地藏さんが彫られてあるのが、対岸の奈良県側の山添村大川から良く見えます。この淵は『猫淵』と呼ばれており、又このお地藏さんはスッポンを踏んづけておられます。不思議ですね。

大川(おおこ)の渡し(渡船場)

ここは昔は伊賀と大和を結ぶ重要道路として栄え、船頭さんが舟で人や荷物を渡していた渡船場であった。五月橋が架かって、さびれ昭和12年に舟は廃止になった。ずっと昔、美人に化けて、ここを通る通行人を水中に誘いこんで殺して食べてた猫がいたそうです。これを退治して、スッポンに乗っているお地藏さんを彫って対じ供養した。と言い伝えられています。奈良県側の淵は『かっか淵』と呼ばれているのは、『かっば』の住む淵という意味で河の主であるスッポンをさしての名であろうと土野の郷土史家、吉住勲元先生は『湯屋谷温泉を中心とする、さんぽ路四、大瀬映巡り』に記されておられます。

治田の地藏菩薩十王磨崖仏(伊賀市文化財-室町時代か?)

全長3・7m。台座の蓮弁から光背までいれると4・3m。伊賀最大の磨崖仏。地藏仏の向かって左に閻魔王、右に泰山王。さらに左側の岩には十王像と供養者像?

白拍子(しらびょうし)の滝と静御前伝説

源義経が伊賀市押久保の長浜新平家の床下に1か月隠れた時、夫に一目会いたいと捜しもとめて、この滝の上流の滝で祈願されたと言いつたされています。

お互いに逃亡の身で再会できず島が原を通過して京都に去っていった。

妻、静御前はもとは舞いを舞わせれば天下一と言われた白拍子であったので、この滝を白拍子の滝と言いつたされています。今ここに架けられている吊り橋は、この伝承によって白拍子橋と名付けられています。

大川遺跡

この河原は縄文時代早期(9500年前)から後期(3500年前)にかけての縄文土器や石器、住居跡、野外炉跡などが発掘されて現在、たて穴式住居が復元され、公園カントリーパーク大川として整備されています。

最近の研究で大川遺跡から発掘された石器を詳しく調べ始めたら旧石器が発掘されていた事がわかった。

伊賀地方では、比土遺跡から瀬戸内技法で作られた翼状剥片1点と、川上川ダム建設予定地である青山の古巖跡からナイフ形石器2点が出土している。旧石器時代の遺物は数少なく大層貴重な物です。旧石器時代から人がこの地にいた証拠です。

大和高原文化の金 小山公久